

うたしない 市議会だより

第44号

歌志内市議会
議会報編集委員会

発行年月日 平成28年10月1日



8月20日に起きた災害現場を視察

定例会の開催

9月7日から9日までの3日間定例会が開催されました。7日は、平成27年度決算に基づく健全化判断比率についてなど報告2件、議案9件が審議され、平成27年度決算に係る2議案は、決算審査特別委員会に付託され、閉会中に継続して審査することになりました。一般質問は8日4名、9日2名が行い、その後、意見書案9件が審議され閉会しました。

【一部事務組合議会】

▽8月23日
空知中部広域連合議会第2回定例会
川野議長・下山議員

議会の動き

平成28年
第3回定例会
9月開催

もくじ

- 議会の動き……………1P
- 一般質問……………2～3P
- 議案について……………4P
- 行政常任委員会報告……………4P
- 可決された意見書……………4P



東光児童館を視察

一般質問



湯浅 礼子

一 防災対策について

質 要援護者対策の進捗状況について。

答 当市の要援護者対策の取り組みとして、保健福祉課、建設課、消防本部が連携し、災害時の際に役立てることを目的に平成19年4月、「歌志内市災害弱者支援情報ネットワーク」を構築した。

しかし、現状では行政内部のみの情報共有となっており、大規模災害時における要援護者の避難誘導など、行政だけでは対応できず、地域の協力が不可欠。

今後、要援護者から災害時利用に限っての同意を得て、町内会・自治会などに情報提供できるよう手続きを進める。

質 被災者支援システム導入への検討状況について。

答 被災者支援システムについては、災害発生時に運用するマンパワーが不足していること、市役所庁舎に非常用電源が無いため停電の場合、システム稼働ができない状況であるなど、導入には障害があるものの、避難所関連システ

ムや避難行動要支援者関連システム等活用が見込まれるものがあるので、システム内容について調査し、障害となる物と合わせ方向性を探っていきたい。

二 公共施設におけるトイレのあり方について

質 公共施設の和式しかないトイレに対して足の不自由な方への配慮は、どのように考えているのか。

答 教育委員会所管の施設では、東光児童館、神威児童センター、市民体育館で洋式トイレが設置されていない。

いずれの施設も、現状のままでは洋式に変更することは、スペースの関係上、設置できない状況。今後、洋式化する場合、どのような形で設置するのか、また、費用の面もあるので協議したい。

三 動物愛護について

質 野良猫、捨て猫の避妊・去勢手術の助成制度の導入について。

答 助成制度は、近隣市町での例はなく、道内でも過去に助成制度はあったが、現在、廃止している自治体もある。

現時点で助成制度は考えていないが、今後研究を進める。



めが さとし

一 防災対策について

質 現在指定されている避難所について、今回の災害で浮き彫りとなった問題点・改善点はあったか。

また、避難所設備の充実が求められると思うかがか。

答 設備に関して、情報収集のためのテレビの設置、炊事場が無い箇所の簡易コンロ設置、簡易ベッドやマットなど寝具が必要との意見があった。

避難所で横になれない状況があった。高齢者は、起き上がるのが大変だという方が多い。早急に簡易ベッドなどの準備を進めるべきと思うが。

答 保管場所を多く取らなくても良い、段ボールを組み立てて作れる簡易ベッド等もある。今後検討したい。

質 ライフラインが止まらないよう、砂防ダムや排水溝の点検・清掃を早急に行う必要があると思うが。

答 排水の詰まり等は点検し取り除いていた。砂防ダムは北海道に要望し、対応中のも

もある。今回は想定外の場所で土砂災害が起き、砂防ダ

ムがあったにもかかわらず土砂が崩れ落ちてきて側溝を詰まらせた。今後は本流以外の山間部の治山対策も必要と考えている。

質 市内の危険箇所193箇所、点検が終わっているのが55箇所、30年度中に点検を終わらせる予定だったと思うが、北海道に対し早急な要請が必要ではないか。

答 数年前より要請している。市長も機会あるごとに直接北海道に要請している。来年度以降急ピッチで行うとの返答をいただいている。

二 プール使用状況について
質 今年の他市町への利用人数は何人だったのか。

答 8月末現在赤平、上砂川、浦臼への利用者は幼児68人、小学生470人、中学生34人、高校生12人、一般277人、プールに入らない保護者66人を含め合計927人。昨年同

期と比較で幼児12人、小学生41人、中学生15人の減、高校生、一般、保護者が増で合計63人の増。

市営プールがあった26年度は1083人の利用だったが、今年度の個人利用は520人と約50%の減になっている。



下山 則義

一 歌志内市の福祉について

質 平成24年8月に歌志内市地域福祉計画が作成され、計画に基づき運用されているが、その状況について。

①生活困窮者の相談について
②相談内容に対する各課の連携について。

答 ①個々の相談内容は多種多様で、本年度は今まで2件あり、全て就労に関する相談。②各課の連携は、福祉的サービス事業、住宅、国民健康保険、医療などについて関係所管と連携をとっている。

二 歌志内市の防災について
質 8月20日の大雨により、市内の河川の氾濫や土砂災害が発生したが、災害に対応した状況について。

①非常招集の連絡網について。
②避難勧告を発令した理由とその地域は。

答 ①連絡体制については、管理職グループ、避難所担当グループ、災害対策本部各部門での電話連絡体制を整えており、災害発生時はそれぞれで

一般質問

連絡がなされ参集している。

②20日の避難勧告の発令理由は大雨によるもので、本町第一、本町第二、神威神楽岡、

神威市街、神威美山町、中村市街、文珠第三の7地区に発令し、22日は土砂災害警戒によるもので、本町川向地区の一部に発令した。

三 海外からの

観光客について

質 7月に中国からチロルの湯に観光客が来たと聞かす。

①宿泊客の人数と当市での観光はどうだったのか。

②日本人とのマナーの違いについて。

答 ①北海道の民間旅行会社が企画したツアーとして7月28日に22名の中国人がチロルの湯に宿泊し、道内では小樽市近郊を主な滞在地として行われ、歌志内市での観光は行われず、チロルの湯での宿泊のみとのこと。

②マナーについては、浴室でのシャワーの使用について、立ったまま使用し、周囲のお客様に水を掛けてしまったり、衣服を着用せず部屋から出るなどの行為があり、支配人から利用マナーを守るようにと注意した旨、聞いている。



山崎 瑞紀

一 歌志内市の防災について

8月20日におきた大雨に伴う災害により、多くの市民の方が被害に遭われました。

今現在も不安を抱えている市民が多いと思いますので、1日でも早い復旧を願っております。今回の災害で得た経験を踏まえ、今後発生するかもしれない災害に生かしていきたい。

質 災害対策本部と町内会の連携はどのように行ったのか。

答 今回の災害では短時間での豪雨により、避難が難しい場所があったため、指定されている避難所以外でも、自主的に避難者を受け入れていたところもあった。

指定避難所もそれ以外の施設についても、区別無く、町内会役員や施設の方などと連絡を取り合い、職員の配置や状況確認、物資の配付などを行った。

質 避難勧告が発令された対象地区の市民に対して周知の方法は。

答 周知方法は、消防の有線放送や広報車による周知、テ

レビのデータ放送、北海道防災情報のメール配信、エリアメール、一部地域の対象世帯に戸別訪問及びビラ配付による周知を行った。

質 道道の2箇所通行止めについて、市民の生活に支障をきたしている。北海道に対しどのような要請を行うのか。

答 特に道道文珠砂川線と砂川歌志内線の被害状況が酷く復旧の目途がたっていない状況。市民の利便性確保を第一に、地滑りの起きた地点の安全確認と一日も早い復旧を要請している。

二 定住対策について

質 歌志内市総合計画重点プロジェクト「若者や子育て世代が定住しやすい環境づくり」の今後の進め方について。

答 当市を定住の対象としてもらうために、外部に向けて様々な情報を発信したり、定住するための居住環境を整備するなどの事務事業を行っているが、速効性のある内容ばかりではないため、粘り強く、総合計画に記載している重点的に取り組む期間である平成31年度まで、効果を検証しながら有効な事務事業を実施していきたい。



本田 加津子

一 安心して快適に暮らせるまちづくりについて

質 公営・改良住宅の共同玄関のコンクリートは、冬期間や雨天時は滑りやすく危険です。共同玄関の転倒防止対策について。

答 平成27年第2回定例会で同様の質問があり、転倒予防策として手すりの設置について前向きに検討する旨の回答をさせていただいた。冬期間の転倒防止策に対するご指摘であることから、本年の降雪期までに、特に要望の強い文珠方面の一部から順次取付けを行う考えである。

質 市税や住宅使用料などをコンビニエンストアで納付できる自治体が増えているが、歌志内市でも曜日や時間帯に左右されずに納付できるように取組みが必要ではないか。

答 公金収納方法の多様化からコンビニ収納は、各自治体において導入されており、特に全国の都会では相当数が採用し、時代の流れは否めない。しかし、当市のような小規模自治体においては取扱件数

のスケールメリットを活かせず、結果、契約単価の高騰が予想される。

また、納付データ等処理のためのシステム投資やその維持管理、更新等の追加費用が必要となるなど追加コストが発生する。納付者利便の向上効果を比較検討した場合、費用対効果が問題となり、当市では導入が難しいものと判断している。

このため、現状の移動収納車や曜日・時間帯に左右されない口座振替による納付、さらには病气、ケガなど特別な事情の場合の自宅での訪問納付を行いながら、今後においても、コンビニ納付の検討を進めていく。

質 自主防災組織体制整備についての取組み状況について。

答 現在、市では、防災訓練の実施を通じて、住民の皆さんに防災の必要性を伝えている。自主防災組織は地域住民が自分たちの地域は自分で守るといふ自覚、連帯感に基づき自主的に結成する組織であるので、今後、組織の結成に向けた情報提供や支援等を行いたい。



議長
かわの 敏夫

今期定例会提出議案の議案第54号平成28年度歌志内市一般会計補正予算(第4号)に対する『各議員の質疑』についてお知らせいたします。

質 ①車両管理費の車両購入費52.8万円はどの様な車両を購入か。

②交通安全対策費の車両購入費42.8万7千円はどの様な車両を購入か。

③車両浸水被害の対策は。

④市議補欠選挙費のポスター掲示場等設置委託料53万3千円は市長選挙用とは別に委託するのか。

⑤市議補欠選挙費の選挙運動公費負担金13.9万3千円は何人の計上か。

⑥水害見舞金30万5千円は災害見舞金規定によるものか。
⑦有害鳥獣駆除等交付金24万円はいつどの範囲の駆除を予定か。

⑧消防ポンプ車修繕料83.1万6千円の計上は、以前の経緯を踏まえ、今後の対策は。

答 ①ミニバンタイプハイブリット車を予定。
②交通安全指導車として、オ

フロード用2千cc程度・4WD車。特別仕様としてパトライト、交通安全用塗装、放送機器等が含まれている。

③平日の勤務時間帯であれば対応可能であるが、休日・夜間の水害対策としては、早めの行動を取ることや、他の場所への移動が求められる。

④それぞれ別に委託する。

⑤3人分の計上。

⑥歌志内市災害見舞金支給要綱の規定によるもの。

⑦猟友会のエンジン駆除に対する交付金で当初の100頭分の予算が8月末で約90頭駆除しており、来年3月まで30頭の不足が見込まれることから、増額補正する。一斉捕獲は11月に市内全域で実施予定。

⑧災害時の出動での事例で申し訳なく思っている。緊急を要する状況でも的確に判断できるように今後も指導訓練する。

質 ①臨時福祉給付金34.5万円の該当者への周知方法は。

②災害見舞金の支給はどの様に行うのか。

③衛生費、被災ごみ運搬18万4千円は被災した方々の使えなくなった物なども運搬するのか。

答 ①該当者に個人通知し、

10月号広報やホームページに掲載する。市内8ヶ所で申請受付をする等、漏れのないようにする。

②見舞金は補正予算可決後早い時期に被災者宅に伺い市長から渡すこととする。

③災害により不用となった物の経過したものは通常の粗大ごみとして対応する。

行政常任委員会報告

委員長 女鹿 聡

▼7月25日

・平成27年度病院事業会計決算状況(見込み)について

・平成27年度決算状況(見込み)について

・平成28年度建設事業の現況について

・ワイン用ぶどう試験栽培事業の進捗状況について(現地視察含む)

▼8月31日

・消防行政全般について

・消費生活相談業務の現況について

・市民相談の状況について

・ごみ分別収集の現況について

・ごみの不法投棄及び不適切排出の状況について

可決された意見書

●チーム学校推進法の早期制定を求める意見書

●「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書

●返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書

●有害鳥獣対策の推進を求める意見書

●JR北海道・JR四国・JR貨物に係る税制特例の恒久化等を求める意見書

●後期高齢者医療制度における保険料軽減特例の維持・継続を求める意見書

●沖縄での米軍属による女性遺体遺棄事件に抗議するとともに日米地位協定の見直しを求める要望意見書

●林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

●特別支援学校の「設置基準」策定を求める意見書

※これら9件の意見書は9月9日に議決し、内閣総理大臣、各関係大臣、衆・参議院議長、その他関係機関へ送付されました。



編集後記

朝晩の空気が涼しくなり、秋を感じさせる時季になりました。

紅葉の季節が過ぎれば早いものでまた雪の季節になります。皆様におかれましては、季節の変わり目に体調を崩さない様にお気を付けてください。

編集長 めが